

診療科への復職支援実態調査結果のご報告

復職支援実態調査にご回答いただいた診療科の先生方、ご協力ありがとうございました。今回のアンケート調査では、各診療科にて「過去の受け入れの有無」や「受け入れ時の対応」に関する調査を行いました。なお、Smart Newsでは、調査結果の概要部分を掲載し、詳細は女性医師支援センターHPに掲載する予定です。

- ◆調査期間 令和2年10月12日～21日 / ◆回収率 82% (全38診療科中 31科)
- ◆調査方法 メール・ペーパーにて

①過去に診療の現場から離れていた方を「復職支援・研修」として、何らかの形で受け入れたことはありますか (有:6、無:25)



<受け入れの経緯>

- ・本院に勤務歴があった
- ・関連病院からの紹介
- ・本人からの依頼
- ・長期留学からの復職

②受け入れ期間・雇用形態

受け入れ期間は、大半の診療科が半年～1年と回答した。期間中の勤務形態は、「非常勤医師」「短時間正職員」「レジデント」が主であった。

③受け入れ時の目的・プログラム

目的は、「専門医取得」「連携病院で勤務」「基本主義トレーニング」「研究のため」が大半を占める結果となった。

プログラムは、全ての診療科が、「相手の希望により個別に作成している」と回答した。

④復職支援でどのような点に気を付けると上手く進むか(自由記述)

- ・復職を相談できる或いは調整する制度と部署が整っている必要がある。
- ・個々の事情に応じて勤務時間や内容を調整する。
- ・保有資格やスキルによって臨床業務の割り当てやトレーニングを組む。

等19件の意見があった。

会議報告

R2. 11. 20

第15回 運営推進会議

<<議題>>

1. 報告事項

- ①定期報告
(センターへの相談・意見、HPのアクセス状況)
- ②保育室関連について
(第12回保育室運営会議)

2. 審議事項

- ①連携病院における
女性医師支援に関するアンケート調査
- ②センターHPの更新
- ③科研費補助金の紹介

